

2021年5月31日

**2021年5月30日にシリル・ラマポーザ大統領が発表した
新型コロナウイルス感染防止対策に関する声明（概要）**

- フリーステート、北ケープ、ノースウェスト、ハウテンの各州において、新型コロナウイルスの感染者が再び増加を示していることを受けて、5月31日より全土で感染警戒レベルをこれまでの1から2へと引き上げる
- 5月31日からの感染警戒レベル2では：
 - 外出禁止時間を午後11時から午前4時までとする
 - 生活に必要不可欠ではないレストランやバー、スポーツジムといった施設の営業時間を午後10時まで制限
 - 葬式や宗教関連行事、政治集会、会合を含めた全ての集会における参加人数を屋内で最大100人、屋外で250人までに制限
- 過去7日間における1日の平均感染者数は3,745人に上り対前週で31%増、対前々週で66%増を示している
- 過去1ヶ月で4%前後だった検査陽性率も11%以上へと上昇
- 感染再拡大の主な原因は、感染防止対策（マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、十分な換気の維持、参加人数の制限）が徹底されていない集会・会合の開催件数の増加
- 集会やイベントの開催延期、公共スペースへの外出や不要不急の旅行を控えるなどして、人との接触をできる限り減らすように国民に改めて要請
- 南アフリカではこれまでに累計96万人以上が1回以上のワクチン接種を済ませている
- 第1弾ではおよそ約48万人の医療従事者（全体の約67%）へ接種1回で済むジョンソン・アンド・ジョンソン（J&J）製ワクチンの投与を完了
- 2週間前に開始した第2弾では未接種の医療従事者と60歳以上の高齢者を対象にファイザー製ワクチンを採用。すでに約48万人が一回目の接種を済ませている
- ワクチン接種会場は南アフリカ全土で官民合計で400カ所以上
- 国内の全ての成人、約4,000万人分のワクチンはすでに確保（J&J製3,100万人分+ファイザー製2,000万人分）されている